



別所憲法9条の会

たより

2023年2月第176号

安保法制廃止・軍事費倍増・軍備強化を許さない・敵基地攻撃能力保持反対・9条守って平和外交を

二十四節気がひと巡りして、4日から新しい年の始まり立春です。「東風解凍」の頃となるのですが、まだまだ寒く長池公園は枯木立が続いています。そんな中でも梅園では紅梅が華やかな紅色一色の見頃で春を感じさせてくれます。公園入口にはほんの少しの水仙が出迎えてくれます。雪の中でも春を告げるので雪中花ともよばれ、白と黄色が可愛らしく甘い上品な香りが漂います。水仙が長池にも群生していたらしいなあと思うこの頃です。

『「貧国強兵」に陥らぬ道を』(筆 木村旬)という新聞記事の見出しにドキリとし本当にそうなるのではと危惧の念を抱きました。12054品目、特に2月だけで冷凍食品など5463品目が値上がりする物価高で日々の生活はさらに苦しくなります。非正規労働者が36、7%も占めるなかコロナ禍で多くの人が生活困窮に追いやられました。児童手当の拡充だけでは根本的な少子化対策にはなりません。にもかかわらず23年度防衛予算は6・8兆円と一気に増やして防衛力ばかり強化される安全保障に傾いております。国民一人一人の命や暮らしを大事にする社会こそが強い安全保障なのではないでしょうか。



2月例会

2月のご案内

日 時 2月 27日（月） 13：30～16：00

会 場 長池公園自然館 第1会議室

内 容 「安保3文書をメディアはどう伝えたか？見てみよう」

をテーマに大手各紙の内容を見ながら、市民はどのように受けとめているのか？そして私たちはどうとらえ行動するのか？意見交換します

☆大手以外の情報など資料をお寄せください

参加費 300円

★新型コロナ感染症は、まだまだ油断できません。

十分気をつけて会館の指示に従いご参加ください。



1月例会報告

今回は「アメリカの世界戦略」をテーマに、清水竹人さんからレクチャーを受け、その後意見交換をしました。

清水さんのお話では（**当日のパワーポイントはホームページに掲載**）

コロンブスのアメリカ大陸発見から以降、原住民の迫害、土地の奪い取り合いの歴史であり、常にアメリカ的の思想の根底には、國益の追求であり、その國益とは全国民ではなく、一部の國民の利益を守るためのもの。國民に分配しない。市場原理主義(新自由主義)につながっている。

対テロ戦争は欺瞞

「スクール・オブ・ジ・アメリカズ」と名の付く基地内の軍事訓練施設を持ち、フィリピンやインドネシアで人権活動家などを誘拐、拷問、暗殺などを実行したという経緯もあり、他にも…
又、チリのアジェンデ政権打倒の為に暗躍した。

アメリカの大企業の儲けの為には不都合な政権には介入、攻撃。
アメリカの体質は自国の企業が利潤を上げられるように言いなりになる国を支援し、反対の国には反政府組織を援助という構図は全く変わっていない。との内容でした。右は意見交換の一部です。

☆ブラジルなどでも同じ事がなされている、トランプ選挙はどうだったのだろう

☆アメリカの見方が整理できて良かつた。人権より利益優先の国で、民主主義は相手の自由を認めないという事か。

☆人権を無視している国なのか

☆戦後アメリカによって憲法が定められそのころはアメリカの人権意識は進んでいたと思うが…

☆今の社会は自由に発言、往来、個人の尊重などが出来ているように思うがまだまだ過渡期かな？アメリカも。

☆民主主義は行きつ戻りつ進むんだろう

☆9.11以降、アメリカは今後どうしようとしているのかが気になる。

等、意見交換しました。このような国アメリカと日本がどう付き合って行くのか？が早々の課題だ、現状はとても危険。と話し、今後の課題にしました。

皆さんから投稿頂きました

(メール配信でたよりを受け取って
頂いている方から)

憲法を守ろう、生かそうと、学びと行動を続けている女性の先輩が身近にいることでおおいに励まされています。

この1週間、原子力利用に関するパブリックコメント4件を提出しました。

東京電力福島第一原子力発電所事故の救済も不十分で、終息も見えないなか、再生可能エネルギーよりも優先する姿勢には怒りしかありません。



また、「たより」の永山教授の記事、安保三文書改訂がどんなに危うことなのかを知ることができました。

ありがとうございました。 M・I

驚き

9条の会1月例会 講演と映画「アメリカの世界戦略とは?」を視聴して。

「全ての人は、平等に造られ、造物主により、生命、自由及び幸福の追求を含む、尊うることのできない一定の権利を与えられている。」と宣言したアメリカ。

また、情報公開法によって原則的には25年経過した外交文書を公開しているアメリカ。しかし、例会ではそれと全く異なるアメリカを知り驚いた。税金で運営される「暗殺者学校」があり、1970年に大統領選挙で成立した南米チリのアジェンデ政権を倒すのに、その卒業者が関わったというのである。文献資料も紹介されているので、さらに確かめたいと思いました。



K・Y

「至るところで…」

今朝の新聞(2023.1.31)によると、米軍横田基地周辺地域の飲料水が汚染されているらしい。米軍基地内で廃棄された有機フッ素化合物は、以前から沖縄では大きな問題になっていた。とうとう東京地域でも住民の血中濃度が、以前の国の調査に比べて15倍にもなっていたという。基地で廃棄された有機フッ素化合物が多摩地域の水道水を汚染したのではと疑われている。沖縄ではあっても、東京



ではそんなことはないだろうと思っていたのか。沖縄で起っていたことがなぜ、横田で、あるいは日本全土の米軍基地周辺で調査しないのか。米軍基地内では排水排液処理などがどのような基準で行われているか気になる。
別所の近くでは多摩市連光寺に米軍の保養施設がある。問題の有機フッ素化合物は、泡消火器に使用されているのだから、ここにもあるはず。

(櫻井民子)

本とDVDの紹介(1月例会で紹介されたものです)

本「学校で教えてくれない本当のアメリカの歴史 上・下」ハワード・ジン あすなろ書房

「アメリカの暗殺者学校」ジャック・ネルソン 緑風出版

「戦争中毒アメリカが軍国主義を抜け出せない本当の理由」ジョエル・アンドレアス 合同出版

DVDは

「セブテンバー11」ケン・ローチ



チリのクーデターに関するドキュメンタリー作品として『チリの闘い』『光のノスタルジア』『真珠のボタン』『戒厳令下チリ潜入記』『NO』の5作品が、娯楽映画作品としては『サンチャゴに雨が降る』『ミッシング』の2作品が、当会の19映画コレクションにあります。ご利用を!

★昨年末にNHKスペシャルで放送された「松本清張と帝銀事件」DVDもあります。

帝銀事件と過去の日本軍の731部隊の関係を描くドラマとドキュメンタリーです。



別所憲法9条の会ホームページ <https://bessho9.info/>

